

YASKAWA

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機 第100期中間ご報告

2015年3月21日 ▶ 2015年9月20日

(証券コード：6506)



Contents

株主のみなさまへ	1
事業案内	4
セグメント別の概況	5
トピックス	10
株式の状況	13
会社の概要	14

To our stockholders

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、海外は中国を中心にアジア全般で成長が鈍化しましたが、米国・欧州の堅調な需要に支えられ、全体としては緩やかな回復となりました。

国内については、中国市場に対する警戒感が強まる中、市場ごとに強弱混在の様相を呈していますが、全体としては底堅く推移しました。



■ 決算の概要

当社グループは、新規事業領域の開拓や新製品投入による競争力・採算性の向上により、事業の拡大を図ってまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,079億47百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益189億79百万円（同27.2%増）、経常利益189億99百万円（同21.5%増）、四半期純利益120億30百万円（同2.9%増）となり、売上高、営業利益、経常利益、純利益のすべてにおいて過去最高を記録しました。

以上のような業績及び財務状況等を勘案し、中間配当

につきましては当初お知らせいたしましたとおり、1株につき10円とさせていただきます。

● 売上高（第2四半期累計・連結）

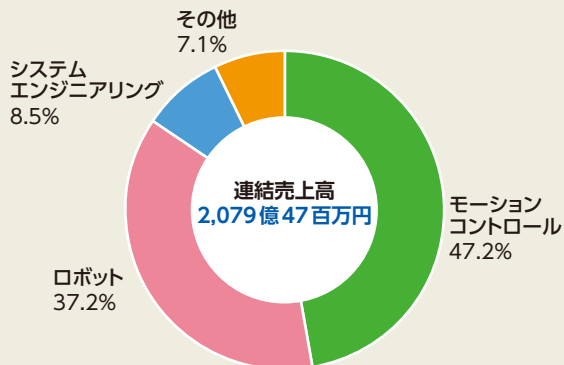


● 営業利益（第2四半期累計・連結）



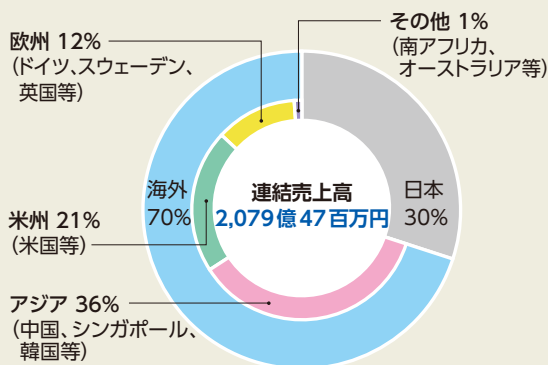
● 連結売上高のセグメント別内訳

（2015年度 第2四半期累計）



● 連結売上高の地域別内訳

（2015年度 第2四半期累計）



株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年11月
代表取締役会長兼社長

津田 弘嗣

■「2025年ビジョン」の位置づけと数値目標

当社グループを取り巻く経営環境は、継続的に変化することが予想されますが、「2025年ビジョン」ではこうした変化をチャンスとして捉え、「2015年ビジョン」の方向性を発展させつつ当社のコア技術の進化とオープンイノベーションの融合により新たな商品・サービスを生み出し、社会に対し新たな価値を提供することを目標にしています。

「2025年ビジョン」の数値目標

	2015年度目標	2025年度目標
売上高	4,350億円	2倍以上(2015年比)
新規事業売上高比率	7%	2倍以上(2015年比)
営業利益額 (営業利益率)	365億円 (8.4%)	1,000億円以上 (10%以上)
配当性向	22%	30%+α (2020年までに段階的に30%まで引き上げる)
ROE	13%	13%以上

■目指す姿と事業領域

Humatronics*事業領域

医療・福祉分野へのメカトロニクス技術の応用で、人間の能力がより生かされる社会を目指します

*Humatronics/ヒューマトロニクス：
人間(Human)とメカトロニクス
(Mechatronics)を掛け合わせた造語



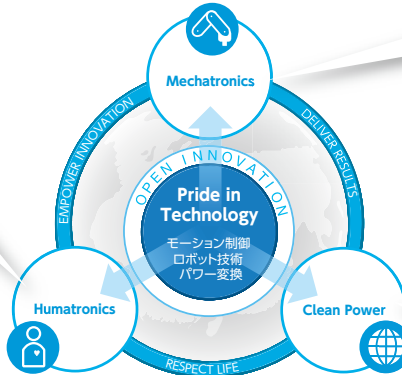
Mechatronics

Mechatronics事業領域

世界最先端の技術+オープンイノベーションで、新たな産業自動化革命を目指します

Clean Power事業領域

安全で安心して暮らせる持続可能な社会を目指します



「2025年ビジョン」の事業領域

目指す姿

- 1 Respect Life** 100年の技術の蓄積を生かし、生活の質向上と持続可能な社会の実現に貢献します
- 2 Empower Innovation** 新しい技術・領域・目標に向かい、人々の心に「わくわく」を届けます
- 3 Deliver Results** 継続的な事業遂行力の向上により、ステークホルダーに確実な成果を届けます

■主な戦略

1 既存コア事業で世界一を追求

- 産業用ロボットとモーションコントロール分野におけるグローバルシェアNo.1を追求する

2 産業自動化革命の実現

- 世界最先端のメカトロニクス技術とICT技術の融合に取り組み、新しい自動化のソリューションを提供する

3 創・蓄・活エネ事業の確立

- 再生可能エネルギー事業のグローバル展開を進めるとともに、電気駆動の新市場を開拓し、コア事業として確立する

4 医療・福祉市場への挑戦

- 人間の能力を補強し、生活の質が向上する機器を開発し、市場を創造する

5 グローカル経営の実現

- 組織、人材能力を強化する

6 地域と共生する活動を推進する

- グローバル拠点毎に、それぞれが地域と共生する特色ある活動を行う

確かな技術と多くの信頼に支えられて創立100周年

当社は1915年の設立以来、「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」という経営理念に基づき、常に時代の主力産業を支え続けてきました。現在は、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の基幹事業を軸に、世界最高水準の技術力とノウハウを駆使し、産業と社会の発展に貢献しています。

高性能・高生産性の機械システムを構築する

モーションコントロール ▶P.5

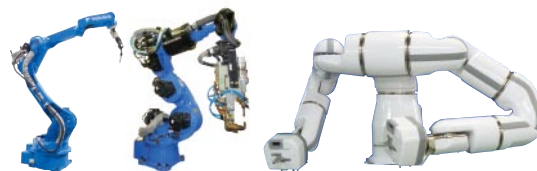


No.1 ACサーボドライブ世界シェアNo.1
累計出荷台数*1,000万台突破(2012年3月) *:ACサーボモータ

No.1 インバータ世界シェアNo.1
累計出荷台数2,000万台突破(2014年2月)

生産現場の自動化に貢献する

ロボット ▶P.7



No.1 産業用ロボット世界シェアNo.1
累計出荷台数30万台突破(2014年9月)

豊かな暮らしと社会を支える

システムエンジニアリング ▶P.9



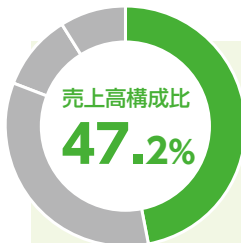
その他 ▶P.9

情報関係事業、物流サービス等

モーションコントロール

世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業

当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる生産機器に組み込まれています。インバータはエアコン、洗濯機、エスカレータなどに利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネにも大きく貢献しています。また、再生可能エネルギーの利用に不可欠な太陽光発電用パワーコンディショナにも取り組んでいます。



事業の業績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、米国を中心に工作機や半導体市場向けの販売が伸張しました。また、新製品「Σ-7シリーズ」への切り替えが進んだことから、収益性が改善しました。

インバータにおいては、米国のオイル・ガス関連や中国のインフラ関連市場において需要が低迷しましたが、米国における Solectria Renewables, LLCの太陽光発電用パワーコンディショナが貢献し、全体としては堅調に推移しました。

この結果、前年同期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

売上高

982億25百万円

前年同期比 **8.3%増**



営業損益

122億92百万円

前年同期比 **17.5%増**



主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ

新製品

高トルク・高精度でダイレクトドライブに幅広く対応

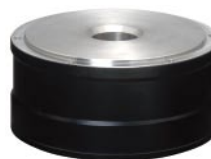
Σ-7シリーズにDYNASERVをリニューアル統合

ACサーボドライブΣ-7シリーズに、今回ダイレクトドライブモータSGM7DモデルおよびサーボパックSGD7Sモデル(型式:FT82、FT83)を新規にラインアップし、2015年7月21日より販売を開始しました。

これは2014年の横河電機(株)からのダイレクトドライブモータ事業譲受に伴い、当社製品に加わったダイレクトドライブモータDYNASERVをSGM7Dモデルとし、Σ-7シリーズに統合するものです。これにより、高トルク、高精度、および機械とのマッチングのご要求に対し、さらに幅広いラインアップでお応えできます。

主な用途

- 半導体製造装置
- 液晶製造装置
- 電子部品実装装置
- メディアタッチパネル製造装置
- ラベル印刷機
- 太陽電池製造装置



ダイレクトドライブモータ
SGM7Dモデル



サーボパック
SGD7Sモデル

新製品

ラインアップを拡充しさらなる高性能を実現

MP3300用CPUモジュール「CPU-302」を発売

ACサーボドライブΣ-7シリーズとの組み合わせによって新たなシステムソリューションを提供し、ご好評をいただいているマシンコントローラMP3300。このたび、さらなる高速化を実現したMP3300用CPUモジュール「CPU-302」を製品化いたしました。生産コストダウンのための装置高速化や部品微細化による装置精度向上などのニーズにも対応できる高速・高精度モーションで、お客様の装置性能の更なる向上に貢献いたします。

主な用途

- 多軸制御や同期制御などが必要な装置
- 半導体・液晶製造装置／電子部品実装機
- 金属加工機／包装機／ロボット
- その他一般産業用機械



マシンコントローラ
MP3300



MP3300用CPUモジュール
CPU-302

ロボット

新たな挑戦を続け進化するロボット

当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。ロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客様の要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。



売上高構成比

37.2%

事業の業績

溶接・塗装ロボット等の主力製品を展開する自動車関連分野において、米国を中心とした底堅い需要により売上は好調に推移しました。また、お客様やシステムインテグレータがロボットの新たな活用を検討・検証する施設としてロボットセンタをグローバルに展開しており、特に中国市場では自動車関連以外の一般産業分野へ適用範囲を拡大させることで、堅調な販売につなげました。

この結果、前年同期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

売上高

773億59百万円

前年同期比 15.1%増 

営業損益

88億57百万円

前年同期比 53.9%増 

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム

新製品

自動車ボディ、バンパー、建機などの大形ワーク塗装に最適

新形塗装ロボット MOTOMAN-MPX3500

製品塗装市場での競争力強化のため、自動車ボディやバンパーなどの大形ワーク塗装に最適化した新形塗装ロボットMOTOMAN-MPX3500を発売しました。自由度の高い設置性と拡張性を備えた先進のマニピュレータと、塗装機能をさらに充実した最新のコントローラにより、製品塗装ラインの高効率化、高品質化に貢献します。

主な用途

- 自動車ボディ、バンパー、バス、建機、鉄道車両等の大形ワーク塗装



新製品

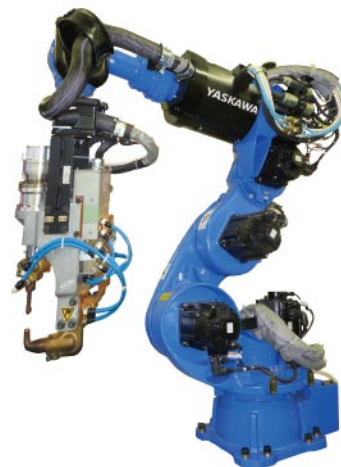
業界初のアーム構造で幅広い設備環境に対応

新形7軸スポット溶接ロボット MOTOMAN-VS100

自動車製造におけるボディ溶接工程では、設備環境の多様化が進み、これに対応する溶接ロボットが求められています。この要望にお応えするため、このたび新形7軸スポット溶接ロボットMOTOMAN-VS100をラインアップに追加いたしました。製造設備をよりコンパクトに、より高効率に、より柔軟にと希望されるお客様に、当社独自の顧客メリットを訴求した設備提案を行って参ります。

主な用途

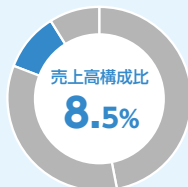
- 自動車ボディのスポット溶接



システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

当セグメントの主な市場は、安定稼働が必須となる大型プラント設備や大型クレーン設備です。計画段階からプロジェクトに参画し、技術提案からアフターサービスまでサポートを行います。鉄鋼業界では、国内で稼働する全ての高炉に当社の制御装置が採用されており、信頼性の高いシステム提供を行っています。



事業の業績

鉄鋼プラントシステム・社会システム事業においては、需要低迷が続く中、設備の更新ニーズを捉え、拡販に努めました。

売上高

176億3百万円前年同期比 **13.3%増**

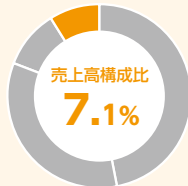
営業損益

△20億93百万円

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 小水力発電用発電機
- 上下水道用電気システム
- 車載用モータ
- 各種産業用電気システム
- 電力用配電機器
- 高圧インバータ
- 風力発電システム
- 高圧マトリクスコンバータ
- 太陽光発電システム
- 産業用モータ・発電機
- エネルギー関連システム
- 風力発電用コンバータ・発電機

その他



事業の業績

当セグメントには、情報関連事業および物流サービス等の事業が含まれております。

売上高

147億58百万円前年同期比 **27.8%減**

営業損益

5億25百万円前年同期比 **17.5%増**

主要製品

- 情報関連製品
- 情報処理ソフトおよび付帯サービス
- OA機器
- 物流サービスほか



創立100周年を記念し、黒崎の町にロボット村がオープンしました

2015年6月1日にロボット村がオープン。ロボット村は、「安川電機みらい館」「ロボット工場」「本社棟」「厚生棟」「YASKAWAの森」で構成されています。私たちはロボット村を通してものづくりの楽しさを発信し、より地域に根ざした皆様に親しまれる企業となることを目指しております。



安川電機みらい館

お客様や学校・研究機関、地域の方々に、ものづくりの魅力、そしてロボットの最新技術などを発信する展示・体感・学習施設です。



館長 岡林千夫

株主の皆様をはじめ、お客様や学校、研究機関、そして地域の皆様と安川電機との接点としてのものづくりの魅力、楽しさを伝えたいと思っています。特に、理科離れといわれている子供たちに、少しでもロボットやものづくりに興味を持っていただき、北九州の未来を担うような子供たちを育てたいとの思いで運営しています。



ロボット工場



厚生棟 (カフェテリア)



YASKAWAの森



本社棟



未来への活動 子どもたちに向けて

当社は小学生向け学習教材「まんがでよくわかるシリーズ」の企画・制作による「はたらくロボット」を刊行し、学研を通じて全国約22,000の小学校および3,200の公立図書館に寄贈いたしました。



大好評!! YASKAWA BUSHIDO PROJECT

「安川電機に連綿と受け継がれる“ものづくりスピリット”」を世界に向けて発信するために、創立100周年という節目に当社が制作したムービー「YASKAWA BUSHIDO PROJECT」。このムービーを6月にYouTubeで公開して以降、視聴回数が500万回を突破しました。



中間事業所内の新ロボット工場が稼動開始

国内ロボット生産体制の再構築の一環として、中・大形一般産業用ロボットの生産工場である中間第3工場を設立。これにより機械加工の第1・第2工場とあわせ、部品加工から組立てまでの一貫生産を実現いたします。

人と地球に優しい、高速・高効率な生産工場

中間事業所内に完成した工場は生産能力900台／月を誇り、安川ロボット生産体制の一翼を担います。これにより、2015年度内に国内2,400台／月、中国600台／月、グローバルで3,000台／月の生産能力を実現します。また、VOC排出量を約70%削減し（従来比）、環境にやさしい事業所を実現しています。

なお、当社はグリーンアジア国際戦略総合特区指定法人（2回目）に指定されており、中間事業所も同制度を活用しています。新工場設立により、なお一層の地域への貢献を図って参ります。

施設概要

- (1)稼動開始：2015年8月20日
- (2)所在地：福岡県中間市上底井野319-4
- (3)規模：敷地面積 40,438 平方メートル



中部支店・中部ロボットセンタを設立

ロボットによる自動化の可能性探求や積極的な情報発信を行い、中部地区におけるロボット事業を強化する為、愛知県みよし市に中部支店・中部ロボットセンタを設立しました。

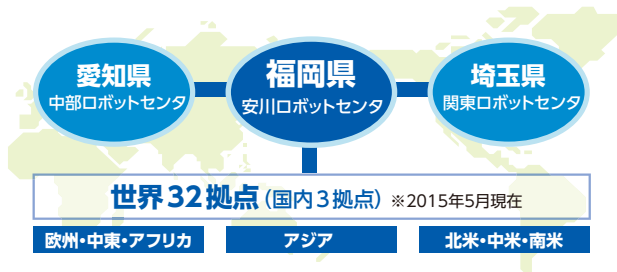
『来て』『見て』『触って』ロボット体験!!

「ロボットセンタ」では、操作教育や安全教育はもちろん、「ソリューションテスト」や「SIルーム/SIラボ」といったサービス提供にも力を注いでいます。お客様のニーズと当社のシーズを融合し、製造・生産工程の自動化に革新的なソリューションを提供します。



グローバルにソリューションを提供

福岡県北九州市の「安川ロボットセンタ」を中核として、世界各地のロボットセンタと連携。それぞれの地域における独自の特性、環境に合わせた技術を開発・共有します。



歩行アシスト装置「ReWalk」を国内で販売開始

2025年ビジョンに掲げるヒューマトロニクスの実業領域確立に向けて、脊髄損傷患者向け歩行アシスト装置「ReWalk」を福祉用の装具として販売開始しました。

脊髄損傷による下肢麻痺者の歩行を実現

ReWalkはイスラエルの歩行アシスト装置メーカー ReWalk Robotics, Inc. (以下 ReWalk社) が開発・製造を行っています。下半身が完全に麻痺していても、再び歩行できるこのReWalkの登場は、米国のオバマ大統領や日本の安倍首相がReWalk使用者と面会するなど大きな話題を呼び、世界中で1,000人を超える方が使用しています。

安川電機は2013年にReWalk社と戦略的資本・業務提携を行い、日本・アジア5カ国における独占販売権を取得しています。今後同社のノウハウを活用し、アジアでの販売準備を加速していきます。

製品概要

- (1) 製品名: 歩行アシスト装置「ReWalk」
- (2) 使用対象者: 脊髄損傷による下肢麻痺者
- (3) ご提供方法: 個人向けは販売、病院向けは販売またはリース



中国 美的集团股份有限公司との提携について

子会社の安川電機(中国)有限公司が、中国の美的集团股份有限公司と、このたび産業用ロボット・サービスロボット関連事業において提携することで合意し、2015年8月4日に契約を締結いたしました。

提携の狙い

世界の家電生産で大きなシェアを占める中国で近年自動化に対するニーズが急速に高まっています。また、中国でも少子高齢化が進んでおり、リハビリ・介護における病院・介護者の負担が大きくなることが予想されます。

このような背景から、産業用ロボット・サービスロボットのそれぞれの分野において大きな市場を形成することが見込まれるため、産業用ロボット・サーボモータ技術に強みを持つ安川電機と、世界的な中国のトップ家電メーカーである美的集団が、それぞれの強みを活かすことで、これらのニーズに対するソリューションを中国市場で提供していきます。

提携の内容

中国において、産業用ロボット・サービスロボット事業をそれぞれ展開する合併会社を2社設立する。

- (1) 産業用ロボット事業を展開する合併会社
- (2) サービスロボット事業を展開する合併会社

美的集团股份有限公司の概要

- (1) 設立: 1968年
- (2) 資本金: 42億人民元
- (3) 売上高: 1,423億人民元(2014年度)
- (4) 従業員数: 約108,000名

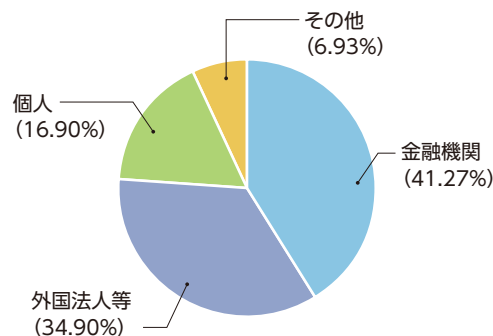
株式の状況 (2015年9月20日現在)

発行可能株式総数 560,000 千株
 発行済株式の総数 264,830 千株
 資本金 295億34百万円
 株主数 39,264 名

● 配当金情報

第100期(自2015年3月21日 至2016年3月20日)配当について			
中間配当	1株につき	10円	
期末配当	1株につき	10円(予想)	
年間	1株につき	20円(予想)	

● 所有者別株式分布状況



IRトピックス

当社では、より多くの株主・投資家のみなさまに当社を知っていただくため、ウェブサイトを通じ様々な情報開示を行っております。

● YASKAWAレポートのご紹介

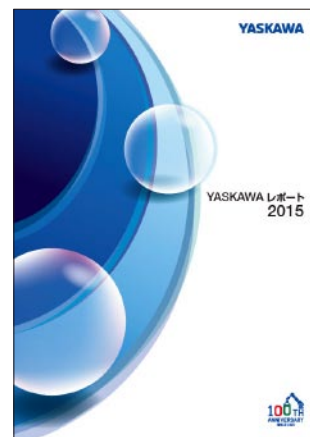
当社業績などの財務情報、および環境や社会への配慮、人材活用、ガバナンスや中長期的な経営戦略などの非財務情報を掲載した統合報告書「YASKAWAレポート」を当社ウェブサイトにて公開しています。

「YASKAWAレポート」は従来の「アニュアルレポート」と「環境・社会報告書」を統合した年次報告書として、2012年度から発行しています。

是非ご覧いただき、当社事業・経営戦略の理解にお役立てください。

<http://www.yaskawa.co.jp/ir/materials/annual>

QRコード



会社の概要 (2015年9月20日現在)

商号	株式会社安川電機		
英文社名	YASKAWA Electric Corporation		
創立	1915年7月16日		
従業員	11,528名(連結) 2,753名(単独)		
役員	取締役 (監査等委員である取締役を除く)	代表取締役会長兼社長	津田 純 嗣
		代表取締役副社長	宇佐見 昇
		代表取締役 専務執行役員	小笠原 浩
		取締役 常務執行役員	村上 周二
		取締役 常務執行役員	南 善 勝
		取締役 執行役員	中山 裕 二
	監査等委員である取締役	取締役 監査等委員(常勤)	小田 昌 彦
		取締役 監査等委員(常勤)	野田 幸之輔
		社外取締役 監査等委員	秋田 芳 樹
		社外取締役 監査等委員	辰巳 和 正
		社外取締役 監査等委員	田中 靖 人
	執行役員	常務執行役員	扇 博 幸
		執行役員	高宮 浩 一
		執行役員	善家 充 彦
		執行役員	小川 昌 寛
		執行役員	吉田 一 昭
		執行役員	生山 武 史
		執行役員	今福 正 教
		執行役員	熊谷 彰
		執行役員	Manfred Stern
執行役員		Michael Stephen Knappek	
事業所	本社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	
	東京支社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	
	中部支店	〒470-0217 みよし市根浦町二丁目3番地1	
	大阪支店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	
	九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル	
工場等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・中間事業所		

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会開催月 (配当金受領株主確定日)	6月 (毎年3月20日および9月20日)
公告方法	電子公告 (http://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■マイナンバーのお届出 (市区町村から通知されたマイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます)

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178 (マイナンバー)

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問合せください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま (特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問合せください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部



0120-288-324

Webサイトのご案内

<http://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

YASKAWA
株式会社 安川電機

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています

UD
FONT